



紫雲児の心

1学期②:《学習・部活動等両立期》

学習・部活動・学校行事等に意欲的に参加し、それぞれを充実させよう。

～3つの想像力～

(1学期終業式講話から抜粋)

校長 中村 聡

1年生は部活動や定期テストも経験し、もう立派な紫中生になりました。2年生は中堅学年、大切な紫雲寺中学校の柱です。3年生は部活動や生徒会活動で後輩に、その素晴らしい姿を見せてくれました。こんなに1、2年生がしっかり成長してくれているのは、すべて3年生のお陰です。このあと、体育祭でさらに、すばらしいリーダーシップを見せてくれるものと期待しています。

皆さんのさらなる成長を願って、3つの『想像力』についてお話します。

1 相手の表情や動作から、気持ちやその背景を想像する力

にこやかな表情から「何かうれしいことがあったのかな」。硬い表情から「何か嫌なことがあったのかな」。無理に元気になっている様子から「元気そうだけど、何か辛いことをごまかそうとしているんじゃないかな」。そんな想像力を身に付ければ、温かい人間関係が皆さんの周りに広がっていきます。あなたがいじめの加害者になることはありません。むしろ、辛い気持ちの友だちを助けてあげることができる優しい人になれます。

2 今、あなたが起こそうとしている行動の先に起こる状況を想像できる力

「今、あなたがやろうとしていることは、このあとあなた自身を苦しめることにならない？誰かの迷惑になることはない？」『STOP,THINK,andGO』、去年も全校朝会でお話しました。行動する前に、しっかり考え、今の行動の先に起こることを想像し、いくつかの選択肢の中からもっとも良いと思われることを実行する力。これが危険やトラブルから身を守ります。

3 成功も失敗も合わせて、未来の自分を想像できる力

夢を持たないと人生楽しくない。その夢の実現のために何をすればいいのかも、想像力次第で決まる。そして大切なのは夢が叶わず、失敗した時のことも想像できる力。人生、思い通りにいかないことなんていくらでもある。そんなときに落ち込まず、次の選択肢をいくつも想像できる力、困難を乗り越えている自分の姿を想像する力、これも大切。皆さんが幸せに生きていくためには、この3つの想像力が力を発揮します。

想像力を鍛えるには、知識と経験が必要。いろいろな本を読んだり、しっかり勉強したりして知識を増やしてください。夏休みにはボランティアや地域の行事、家族の手伝いなどして、積極的にいろいろな人と関わり、経験を積んでください。

最後になりますが、先週105歳で亡くなった日野原重明さんについて紹介したいと思います。日野原さんは東京の聖路加国際病院の名誉院長をされていました。90歳のときに書かれた「生き方上手」という本の中では、命のことや生き方、幸せについてやさしく語っています。また、全国の小学校で行った『命の授業』では小学生でもわかるように「命の大切さ」について語ってくれています。そんな日野原さんの言葉をいくつか紹介します。

- ・「命というのは、使える時間。自分の持っている時間を誰かのために使ってほしい。」
- ・「75歳を過ぎてから、第3の人生が始まる。今までしたことのないことをやってみよう。」
- ・「いくつになっても、自分がこうありたいという生き方を持ちなさい。」
- ・「人生はゴールの時まで向上できるし、希望がある。」(亡くなる1ヵ月半の言葉)

明日からの楽しい夏休み、3つの想像力を駆使して、自分をコントロールし、あなたの大切な命の時間を自分の向上や人のために有意義に使ってください。

1学期を振り返って

～～終業式に各学年の代表が発表してくれました～～

1年1組 相澤 華さん

中学生になって4ヶ月がたちましたが、その間にいろいろなことを学びました。特に大切だと思ったのは、目標に向かって努力することと、毎日の積み重ねが大事だということです。

初めての定期テストがありました。小学校の頃のテストと同じだろうと軽く考えていて、ほとんど勉強しないでテストに臨みました。その結果、満足のいく点数がとれずに「もっと勉強すればよかった」ととても後悔しました。やはり目標を持ってそれを達成するために計画することが必要だと思いました。

部活動ではソフトテニス部に入り、先輩たちにいろいろなことを教えてもらい、少しずつできることが増えました。大会にも応援して参加しました。声が枯れるほど応援しましたが下越地区大会では残念な結果になってしまいました。私たちも毎日練習しているのに負けてしまうんだから、きっともっとも毎日真剣に練習しなければ勝てないんだ、と気づきました。

勉強にしても部活にしても目標を立てて毎日努力を積み重ねることが大切だと学びました。1学期は中学校に慣れるのに精一杯でしたが、2学期はどんなことにも目標を持って臨みたい。そのためにも、夏休みの過ごし方もだらしなく勉強と部活を生活の柱として規則正しい毎日を送り、よい2学期のスタートにつなげていきたいです。

2年1組 斉藤 祥護さん

1学期にがんばったことが3つあります。

1つ目は、部活です。練習があるときは、休まず参加し、一生懸命練習しました。技術面ではドライブを集中的に練習しました。しかし、市内大会では、いい結果がでなくて悔しい思いをしました。今は、大会でうまくいかなかったことや夏休み中にある大会で2回戦突破を目標にがんばって練習しています。これからもがんばって練習したいです。

2つ目は、第1回定期テストです。2年生になってからは、1年生のときよりも勉強時間を増やすようにしました。その結果1年生のときよりも合計点数がすこし上がりました。しかし、1年生のときよりも点数が悪い教科がありました。次は、その悪かったところを復習しがんばっていきたいです。夏休み中に第2回定期テストにむけて勉強をがんばりたいです。

3つ目は、チャレンジウォークです。チャレンジウォークでは、昨年度の記録をこえることを目標にして歩きました。最初のうちはがんばって走りました。中盤になってきて足が痛くなって走るのをやめ、速歩きをしました。ゴールでは記録更新ができて良かったです。目標をたてて努力をすると達成感が大きくなります。これからも目標をたててがんばりたいです。

昨年の夏休みは、宿題を早めにやらなくて後半あわてたので、今年の夏休みは、早めに宿題を終わらせられるようにがんばりたいです。

3年1組 石井 舞花さん

この1学期を振り返ってみると、最初に浮かんできたのは部活の事でした。すでに引退しましたが、バレーを続けてきて学んだことは2つあります。

1つ目は、諦めないことです。シード戦では、市内9校中8位という結果になり、悔しい思いをしました。なので必死に練習しました。昔から体が弱いので、体調を崩してしまう日もありましたが、勝って下越大会へ出たいという思いで諦めずに練習してきました。そのおかげで市内大会では3位をとることができて本当に嬉しかったです。

2つ目は、仲間を信じることです。少しケンカになってしまった時もあったけど、最後は、みんなを信じてトスをあげることができました。今は、後輩とも色々話すことができて嬉しいです。

今後、この2つのことを忘れず過ごしたいと思います。

夏休みの課題は、受験生として自覚を持って勉強に励み、たくさんの人と忘れられない思い出をつくることです。部活を引退したので、その分勉強することが目標です。夏休み中は、入試問題はあまりやらず、まず基本問題に取り組もうと思います。そしてダラダラと長い時間勉強するのではなく、短時間で集中して勉強したいです。また、今年は中学校生活最後の年なので、3年生とはもちろん1、2年生とも忘れられない思い出をつくりたいです。1、2年生の頃は部活があって人と遊ぶ機会が少なかったけど、これからたくさんの思い出をつくりたいと思います。そしてもう一つの夏休み中の課題があります。それは、健康を維持することです。さっきも言いましたが、体が弱いので、体調を崩さないことを第一に気を付けて、色々な人に迷惑をかけないようにしたいです。

受験生の3年生の皆さん、受験勉強は、時間がたくさんある夏休みが勝負です。なので皆で、分からないところは教え合って、疲れた時は励まし合いながら共に頑張りましょう。